JIIMA会員各位

令和7年7月

公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会

理事長　勝丸 泰志

**『第19回ベストプラクティス賞』 候補事例募集のご案内**

公益社団法人日本文書情報マネジメント協会(JIIMA)は、日本のあらゆる組織の価値を高めるために、文書情報マネジメントの実践を通じてDXを加速するようにリードする協会として、文書情報マネジメントの普及啓発に関する活動を重ねております。

その一環として平成19年より、先進的な文書情報マネジメントシステムを導入し顕著な効果を出された企業・団体に対し、『ベストプラクティス賞』を設けて表彰しております。

19回目を迎える今年も『ベストプラクティス賞』候補の優秀事例を下記の通り募集いたしますので、会員企業の皆様には、ぜひお取引先などでの事例をご推薦くださいますようお願い申し上げます。なお、社内事例の自薦についてもご応募いただけます。

記

１．『ベストプラクティス賞』とは

　　　先進的な文書情報マネジメントシステムを導入し、顕著な効果を出している事例を、JIIMAが表彰し、広く社会に紹介する表彰制度です。

２．募集要項

添付の「応募用紙フォーム」にA4サイズ2頁以内に要約し、郵送又はPDFで下記まで送付願います。

〒101-0041　東京都千代田区神田須田町2-19　ライダーズビル7F

公益社団法人日本文書情報マネジメント協会　事務局長　黒柳 宛

TEL. 03-5244-4781 Email: kuroyanagi@jiima.or.jp

締め切り　　令和7年8月29日（金） 厳守ください。

※ 推薦者は正会員とし、自薦他薦は問いませんが、同時に複数者（社）を推薦することはできません。また、過去に落選した事例は、再度申請できないものとします。

※ JIIMA主催のイベントにおいて、受賞者に事例発表を行っていただきます。

３．審査と表彰

応募された事例については、JIIMA「ベストプラクティス賞審査委員会」で審査のうえ、先進的な事例を『ベストプラクティス賞』の「優秀賞」とし、総合点が基準以上であっても先進的な評価点が基準に満たない事例を「奨励賞」として決定いたします。

『第19回ベストプラクティス賞』の表彰（事例発表）は、11月開催予定の「デジタル ドキュメント 2025」で行う予定です。

４．選考基準

(1) 文書情報マネジメントの特性が十分に発揮されていること

(2) 先進的な事例であること

(3) 社会的な意義が大きい事例であること

(4) セミナー講演、機関誌・協会公式Webサイトへの資料掲載など、当協会の

　普及啓発活動にご協力いただけること

５．発表

令和7年9月中旬の予定です。ご応募いただきました皆様に結果をお知らせし、

○ プレス発表を行います。また、機関誌「IM」やJIIMA公式Webサイトでも

　『第19回ベストプラクティス賞ケーススタディ』としてご紹介いたします。

○ 令和7年11月に開催予定の「デジタル ドキュメント 2025」にて、受賞特別

　講演として受賞者（ユーザー）に事例発表を行っていただきます。

６．【ご参考】 JIIMAベストプラクティス賞　受賞事例一覧（敬称略）

第1回～第15回まで省略

第16回 ○株式会社リログループ 【優秀賞】　「グループ各社・各部署への電子契約を通じた、

 業務効率化・ガバナンス強化およびSDGsへの貢献」

 ○株式会社エフ・アイ・エス　【奨励賞】　「属人化された社内の紙文書と電子文書を

 組織共用文書として、現状の資源を活用し全社一丸となって情報管理の効率化

 とBCPの改善に取り組まれた事例」

第17回 ○市立芦屋病院　【優秀賞】　「電子処方箋をコアにして、医薬連携、地域連携も視野

 に入れたデジタル基盤を構築し、患者安全、医療者従事者の働き方改革を目的

 とした院内のペーパーレス化」

 ○小田原市　【優秀賞】　「『おだわらデジタルミュージアム』創設プロジェクト

 〜小田原市所蔵文化財の包括的デジタルアーカイブの構築〜」

 ○太陽化学株式会社　【奨励賞】　「完全ペーパーレス化による受注業務の変革

 ～育児時短＆残業ゼロ＆テレワーク可能な職場環境づくり～」

第18回 ○福岡運輸株式会社 【優秀賞】 「受領書保管業務のペーパーレス化により受領書と

 配送データの一元管理を実現し、問い合わせ対応の即時化と業務効率の大幅な

 向上を達成」

 ○エム・エム ブリッジ株式会社 【優秀賞】 「電子帳簿保存法対応を契機に購買業務

　　　　　　　　　DXを実現　～デジタル化で業務を革新、柔軟な働き方をサポートする環境へ～」

 ○富士フイルムBI福井株式会社 【奨励賞】 「新情報資産管理環境構築活動による

　　　　　　　　　全社DX推進の基盤作りと全社員の意識改革への取り組み」

 ○埼玉県中央青果株式会社 【奨励賞】 「青果卸市場における電帳法対応と社内

　　　　　　全文書電子化の両立」

※ 全受賞事例一覧は、下記のJIIMA公式サイトで公開中です。

（<https://www.jiima.or.jp/activity/bestpractice/past_awards/>）

以上

第19回ベストプラクティス賞候補（優秀事例）応募用紙

令和7年　　月　　日

 推薦者（会社名）：

 部署・お役職：

 お名前：

 TEL：　　　　　　　　　　Email：

候補者（会社・組織名）：

ご担当部署・お役職：

ご担当者名：

TEL：　　　　　　　　　　Email：

１．テーマ（効果を上げた文書情報マネジメントシステムのテーマを端的に記入ください）

２．推進時の課題（テーマを推進するきっかけとなった課題をまとめてください）

３．課題解決のために実施した内容（ワークフローや図表がありましたら添付ください）

４．実施による効果（定性的効果のほか、出来れば定量的な効果もまとめてください）

５．文書情報マネジメントの発揮（事例のどの部分でどのようなマネジメントを実施したかを説明してください）

６．先進性（事例のどの部分が過去にない事例かを説明してください）

７．社会的な意義（社会に貢献できると考える部分を説明してください）

８．JIIMA主催のイベントにおいて、ユーザーが事例発表を行うことに同意します。

　　□（✓を記入して下さい）

添付資料１．候補企業・団体の案内パンフレット

添付資料２．システム全体のフローが理解できる図や資料がありましたら添付願います。